ii-nuts!!

7月27日

第57回 稲津町民夏まつり

真夏の夜の饗宴に、1,950人が集い大賑わい!

テーマ『ふるさとに思いを込めてアツイ夏』のとおり来場者の笑顔がはじけ、心に響き、記憶に残り、感謝の夏まつりとなりました。

中学生ボランティア、区長会、地区推進委員、実行委員等約110名が当日の朝、会場準備をしました。各部門のベテランさんの指示を受けながらの作業、スムーズに準備することができました。

祭りは夕方5時からのチアダンスで始まり、麗澤太鼓の「ドン ド～ン」で幕開けです。盆踊りや夜店等で賑わいました。中学生と小学生の司会も大きな声で祭りを盛り上げてくれました。提灯・櫓・夜空に煌く花火に、胸がときめいてワクワクし、町民の絆が深まりました。やっぱり故郷の祭りはイイですね！

翌日の花火の片付けも、早朝5時半にもかかわらず小学生や稲津同友会、消防団、実行委員等60名にご協力いただきました。グラウンド全体に落ちた花火のゴミは小さく２㎝程度、火バサミで一つひとつ拾う作業は大変でしたが、皆さんのご協力で例年より短時間で終了しました。

8月7日・8日

お姉さんと お勉強のお部屋

夏休み思い出の1ページ

参加した小学生10人は大学生・専門学校のお姉さんと、算数や国語の他に英語など一緒に学びました。

歌声サロンでは寿大学の大学生とお姉さん、小学生が交流しました。45人は歌ったり楽器でリズムをとりながら頭の体操をしました。避難訓練、消火訓練の他に、茶道や狂俳を詠むといった文化的な体験もしました。稲津町では100年を超える歴史があるといわれている狂俳を子ども達が伝承してくれると嬉しいですね。

入選作品5点は行燈として文化祭で展示します。

		7月1日現在	8月1日現在	増減
人口	男	2,036 人	2,038 人	2
	女	2,059 人	2,057 人	−2
	計	4,095 人	4,095 人	0
世帯数		1,733 世帯	1,733 世帯	0

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小 里	9月13日	9月25日
	10月17日	10月25日
萩 原	9月12日	9月24日
	10月16日	10月24日

ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー展示開催中

お月見

今年の中秋の名月は９月17日（火）です。芋の収穫時期と重なっていたことから芋名月とも呼ばれます。収穫に感謝する意味もあり、サツマイモ、里芋、柿、ぶどうなど秋の恵みをお供えしてお月様を鑑賞する行事です。雲の少ない夜だといいですね。

9月の稲津さん

陸上大好き女子！

大島　寛奈さん

高校３年生　（産郷）

小さい頃から、愛犬と一緒に走ることが好きでした。小学３年生で稲津陸上に入り、瑞浪南中学校１年生の時はランナーでしたが足のけがで走れなくなりました。そんな時に澤田コーチから投てき競技を勧められ、不安はありましたが陸上競技はやめたくなくて始めました。2.7kgの砲丸はとても重かったです。投てき専門のコーチに教わり、初の大会でいい記録が出て楽しくなりました。高校では砲丸は４kgと重く、パワーが必要になりベンチプレスなどで筋力を強化しました。メインは円盤投げで好きな競技です。ほぼ練習は一人ですが母が付き添ってくれていました。東海高校総体・東海選手権に高校３年間出場できたのは、たくさんの方々の応援のおかげです。将来の夢は薬剤師です。大学でも陸上は続けて、数少ない投てき競技のコーチになって恩返しがしたいです。

参加者募集

介護予防教室「ハッピー教室」

～みんなで貯筋してハッピーなシニアライフを過ごしましょう～

この教室は、簡単なストレッチ体操を中心とした筋トレの教室です。「最近、運動していないな…」「歩くことが億劫になってきたな」と感じている方にお勧めの教室です。掛け声に合わせて自然と筋トレができるので、毎年好評の教室です。ぜひみんなで**貯筋**をして、いつまでも若々しく過ごしましょう！

☆**期　　日**　10/2、10/16、11/6、11/20、12/4、12/18、1/15、1/29、2/5、2/19　＊いずれも水曜日
☆**時　　間**　10時15分～11時15分（10時～受付開始、初回のみ9時45分～受付）
☆**講　　師**　篠宮　澄子先生　　☆**場　　所**　稲津公民館（多目的ホール）
☆**持 ち 物**　水分補給用の飲み物、フェイスタオル、ヨガマットまたはバスタオル
☆**参 加 費**　無料　　☆**対 象 者**　65歳以上の稲津地区の方
☆**定　　員**　25名程度【定員になり次第募集を終了します】
☆**参加方法**　事前に下記に申し込みいただき会場にお越しください。
*運動の可否については、主治医（整形外科、内科など）にご相談ください。

申し込み・問い合わせ：瑞浪南部地域包括支援センター　☎68-8111

館長コラム

猛暑日の先に

猛暑日が続いた8月から9月に季節は移り、黄金色の首（こうべ）を垂れた稲穂の刈り取りが始まる時期となりました。赤とんぼやイナゴも田んぼを飛び始めました。夜になればコウロギや鈴虫の声も聞こえ、まるで子守唄を奏でてくれているかのようです。まだまだ残暑が続くと思いますが過ごしやすい秋の訪れを今か今かと待ち望んでいるかと思います。

8月を振り返ると毎日のように「熱中症警戒アラート」が発令される猛暑日が続く寝苦しい夜に、パリ五輪に手に汗を握る熱戦を食い入るように観戦したことが昨日のように思い出されます。9月はパラリンピックで熱戦を繰り広げられ、日本選手の活躍に期待したい。

また、8月の夏休みには日本各地で水難によって尊い命が亡くなる事故が多くありました。なかでも幼い命がなくなる水難事故が相次いで起きています。

こうした中、市内の小学校ではプールでの授業が激減していると聞く。自分たちの時代は、夏休みに「プールカード」で最低でも何回かはプールに行くように決まっていた。今は自校のプールが閉鎖されている小学校もあると聞く。決して泳げるから事故に遭わない訳ではないことは承知しているが・・・。泳げないより泳げたほうが良いのでは思うのは素人の浅はかな考えか。自問自答している。とにかく未来ある子供たちが事故やいじめで尊い命を落とすことのない社会であって欲しい。

（M）